

令和2年度高大連携ウインター・セッション実施における新型コロナウイルス感染症対策について

1 実施にあたっての新型コロナウイルス感染症予防対策

文部科学省衛生ガイドライン「学校の新しい生活様式」(2020.9.3 Ver. 4)を踏まえた行動基準

【※レベル1…9月現在の本県】

- (1) 「密閉」の回避…換気の徹底(30分に1回以上「学校の新しい生活様式」P33～)
- (2) 「密集」の回避…身体的距離の確保…1mを目安に教室内で最大限の間隔を取る(換気・マスク着用)
・あくまでも目安であり、それぞれの施設や感染リスクの状況に応じて、柔軟に対応することが可能
- (3) 「密接」の場面への対応…マスクの着用
- (4) 各教科活動…適切な感染対策を行った上で実施(マスク着用・換気・手洗い・消毒) (「学校の新しい生活様式」P47より)
・器具や用具を共同で使用する場合は事前事後消毒の徹底
- (5) 食事…衛生管理を行った上で、通常の提供 (「学校の新しい生活様式」P51より)
・対面とならない並び方が理想
- (6) バスの利用…定期的な換気と可能な範囲での過密乗車の回避 (「学校の新しい生活様式」P52)
・利用者の座席を離すのが難しい場合は、会話を控える、マスク着用徹底、乗車前後の消毒等で予防対策
- (7) 宿泊施設(宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン 2020.5.14 日本旅館協会 P2～抜粋)
…宿泊者同士の接触を避け、対人距離を確保
・換気や消毒、マスク着用徹底等で客室、玄関、食堂、浴室等多くの人数が同時利用する場所での感染防止
・岩手山青少年交流の家ガイドラインも参照(新型コロナウイルス等の感染防止ガイドライン R2. 6.1)
(青少年交流の家、明窓館とも定員を半減し営業中)

2 参加にあたっての留意事項 (「学校の新しい生活様式」(第2章 P21～))

- (1) 朝の検温、手洗い(消毒)、咳エチケット(マスク着用)の徹底
- (2) 適度の換気、適切な間隔、対面の会話回避(3密の回避)
- (3) 感染が疑われる症状が発生した場合の対応(家庭との連携 例:別室隔離の上帰宅)